

## 第4章 多機能インフラ整備のあり方検討

## 第4章 多機能インフラ整備のあり方検討

### 1 多機能インフラ整備に係る事例調査

#### 1.1 多機能インフラの事例整理

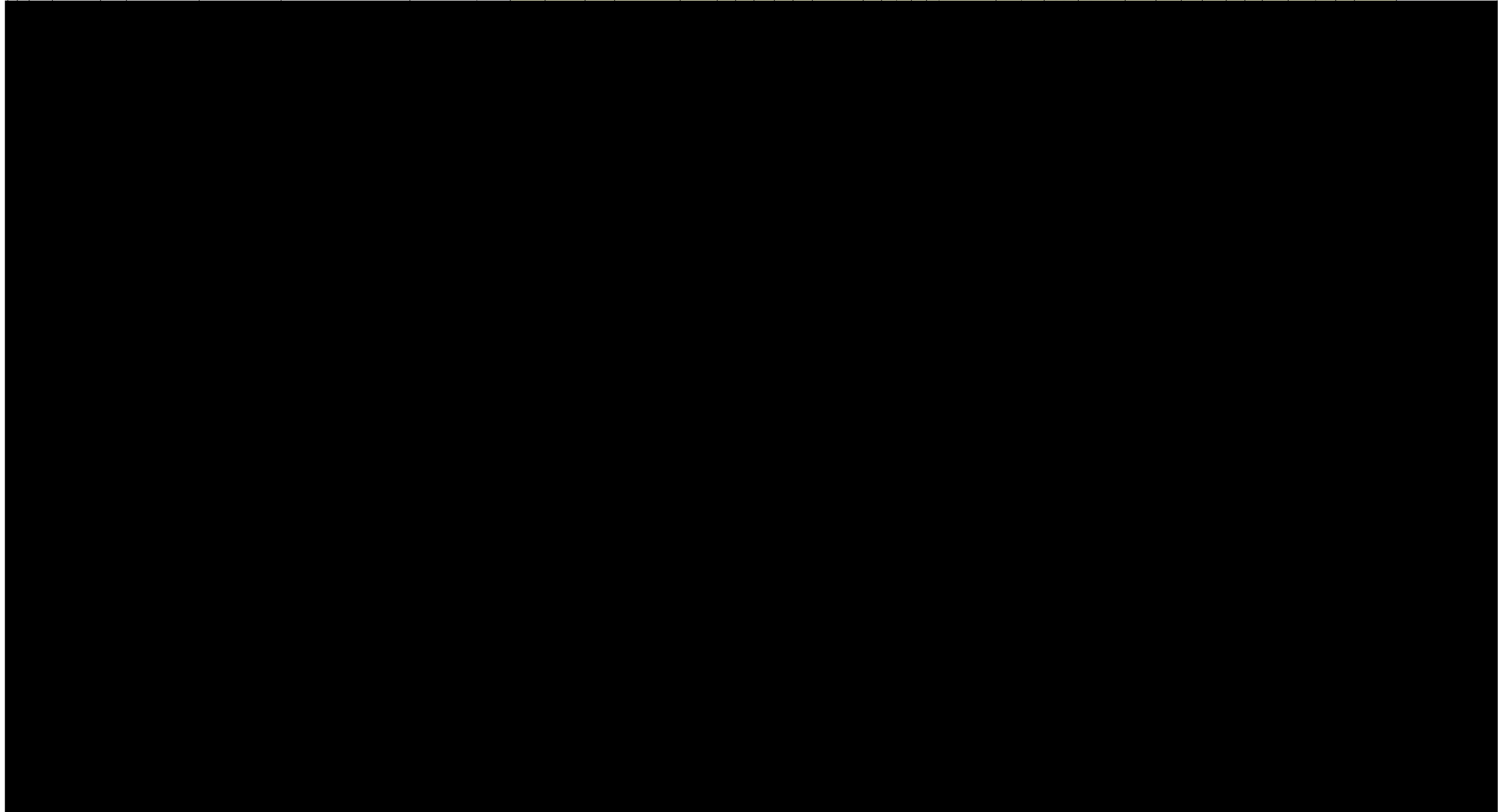
##### 1.1.1 事例の一覧

各地方整備局から挙げられた事例を以下の一覧表に整理した。

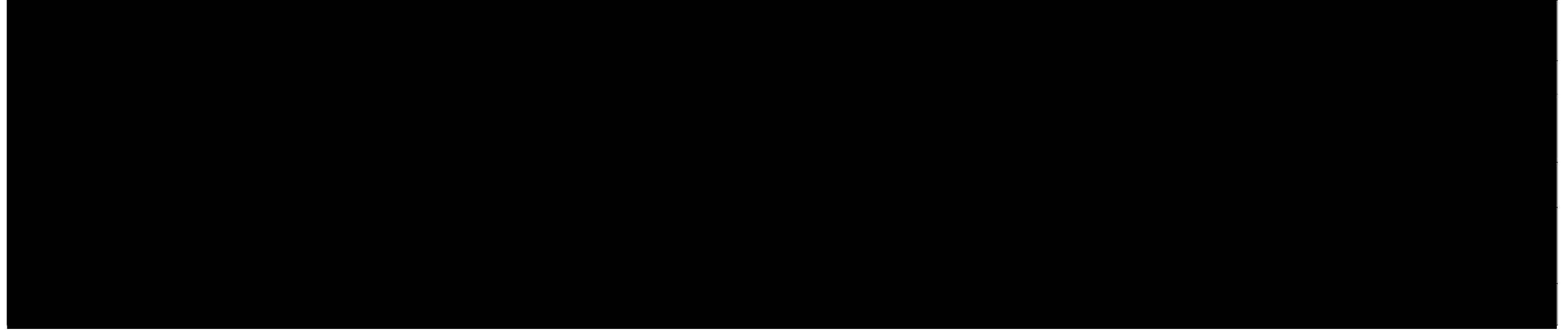
事例ID	分類	名称	地先	内容	効率的に整備できた内容	事業の整備以外の相乗的な効果や新たな価値 ※市民目線での整備効果も記載すること	その他 (自由記載)	備考	事業開始年度	事業完了年度	事業間連携を開始した時期 (年度)	連携の経緯や協議内容を把握しているか (今回は○、×のみ) 次回以降簡単な主要な経緯を報告して頂く予定	整備費用を把握しているかどうか (○ or ×)	全体事業費 (億円)					B/C算出有無				完成後、定量的、客観的な情報を収集しているかどうか。			施策フラグ (複数回答可)										各地整備窓口 ※登録は、複数名でも構いません。		
														うち道路	うち河川	うち都市	うちその他	備考	うち道路	うち河川	うち都市	うちその他	備考	事後評価	その他	備考	防災・減災・国土強靱化	予防保全老朽化対策	物流ネットワーク	安全・安心・空想利	システムのデジタル	ポストコロナ	自然災害からの復旧・復興	ハード・ソフト一体の流域治	良好な環境		賑わいの創出	備考 (任意で記載可)
記載例									S50	H20	H10	○	○	133	100	20	10	3	その他は鉄道局予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	

項目	地号	分類	名称	地先	内容	効率的に整備された内容	事業の整備以外での相乗的な効果や新たな価値 ※市民目線での整備効果も記載すること	その他 (自由記載)	備考	事業開始年度	事業完了年度	事業間連携を開始した時期(年度)	連携の経緯や協議内容を把握しているか (今回は○、×のみ) 次回以降簡単な経緯を報告して頂く予定	整備費用を把握しているかどうか (○ or ×)	全体事業費(億円)					B/C算出有無				完成後、定量的、客観的な情報を収集しているかどうか。	施策フラグ(複数回答可)										各地窓窓口 ※登録は、複数名でも構いません。													
															うち 道庁	うち 河川	うち 都市	うち その他	備考	うち 道庁	うち 河川	うち 都市	うち その他		備考	事後 評価	その他	備考	防災・減 災・国土強 靱化	予防保 全老朽 化対策	物流 ネット ワーク	安全・ 安心 空間利	システ ムの デザイ ナ	ポスト コロナ		自然災 害からの 復旧・復 旧	ハード・ソ フト一体 の流域治 理	良好な環 境	賑わ いの創 出	備考 (任意で記載 可)								
記載例															S50	H20	H10	○	○	133	100	20	10	3	その他は鉄道局予 算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×

種別	分類	名称	地先	内容	効率的に整備できた内容	事業の整備以外での相乗的な効果や新たな価値 ※市民目線での整備効果も記載すること	その他 (自由記載)	備考	事業開始年度	事業完了年度	事業間連携を開始した時期(年度)	連携の経緯や協議内容を把握しているか (今回は○、×のみ) 次回以降簡単な主な経緯を報告して頂く予定	整備費用を把握しているかどうか (○ or ×)	全体事業費(億円)					B/C算出有無				完成後、定量的、客観的な情報を収集しているかどうか。			施策フラグ(複数回答可)										各地窓口 ※登録は、複数名でも構いません。	
														うち道路	うち河川	うち都市	うちその他	備考	うち道路	うち河川	うち都市	うちその他	備考	事後評価	その他	備考	防災・減災・国土強靱化	予防保全老朽化対策	物流ネットワーク	安全安心空間利	システムのデジタル	ポストコロナ	自然災害からの復旧・復興	ハード・ソフト一体の流域治	良好な環境	賑わいの創出	備考 (任意で記載可)
	記載例								S50	H20	H10	○	○	133	100	20	10	3	その他は鉄道局予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	



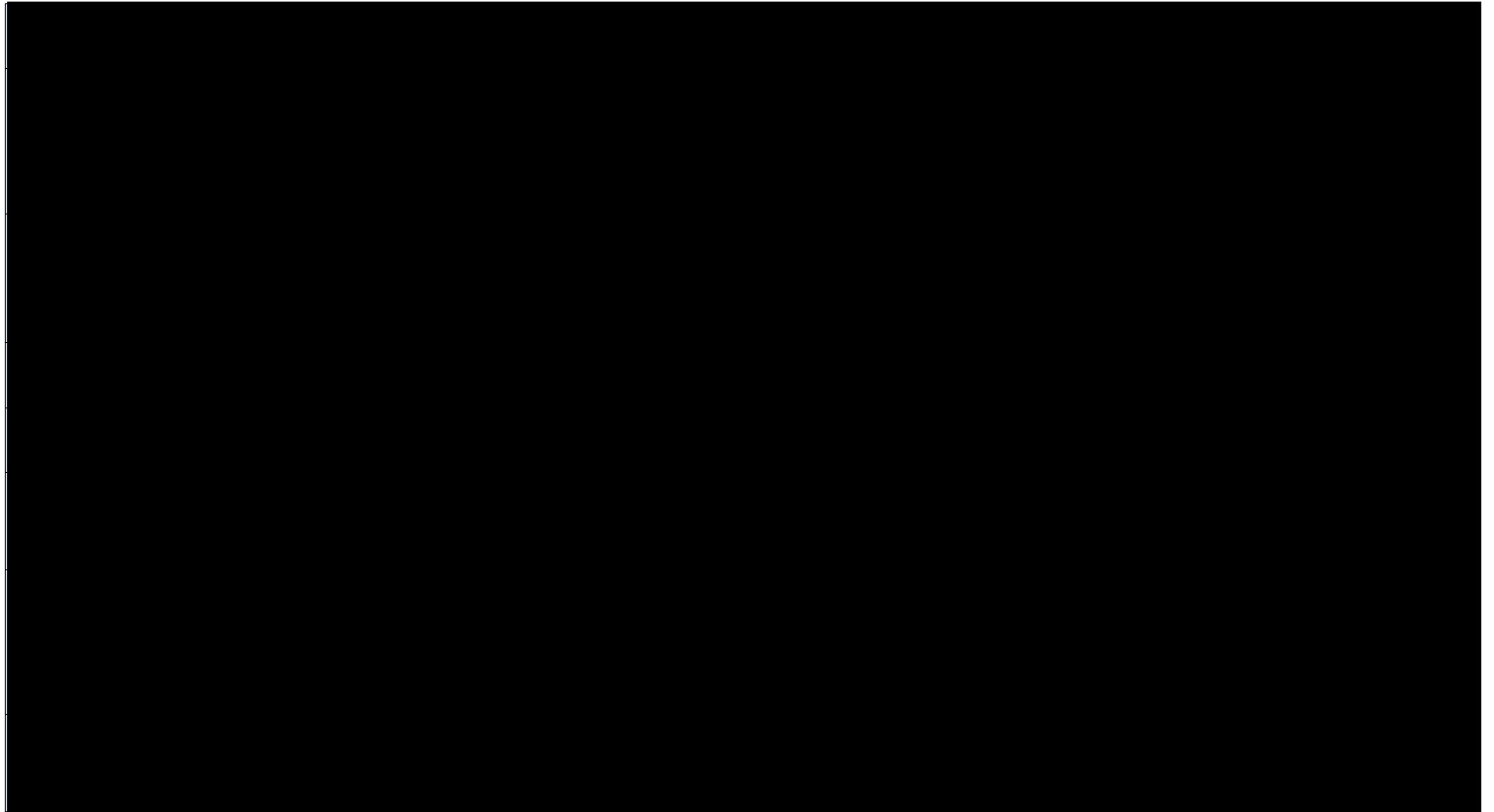
種別	地先	分類	名称	地先	内容	効率的に整備できた内容	事業の整備以外での相乗的な効果や新たな価値 ※市民目線での整備効果も記載すること	その他 (自由記載)	備考	事業開始年度	事業完了年度	事業関連連携を開始した時期 (年度)	連携の経緯や協議内容を把握しているか (今回は○、×のみ) 次回以降簡単な主な経緯を報告して頂く予定	整備費用を把握しているかどうか (○ or ×)	全体事業費 (億円)					B/C算出有無					完成後、定量的、客観的な情報を収集しているかどうか。				施策フラグ (複数回答可)										各地窓窓口 ※登録は、複数名でも構いません。
															うち道路	うち河川	うち都市	うちその他	備考	うち道路	うち河川	うち都市	うちその他	備考	事後評価	その他	備考	防災・減災・国土強靱化	予防保全老朽化対策	物流ネットワーク	安全安心空間利	システムのデジタル	ポストコロナ	自然災害からの復旧・復興	ハード・ソフト一体の流域治	良好な環境	賑わいの創出	備考 (任意で記載可)	
記載例										S50	H20	H10	○	○	133	100	20	10	3	その他は鉄道局予算	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	

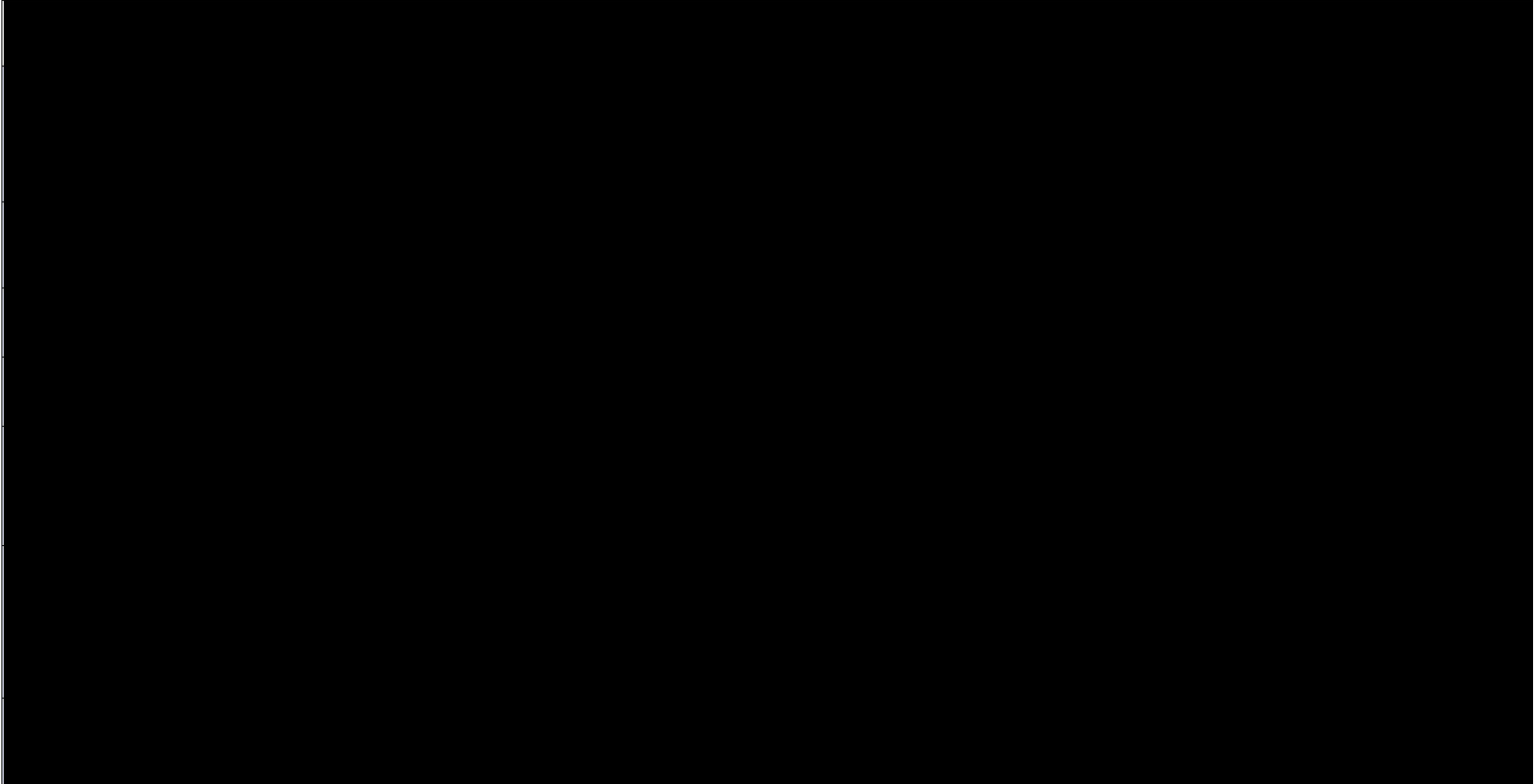


## 1.2 先進事例に関するヒアリング調査

### 1.2.1 ヒアリング結果概要

全国の先進事例から、特に各類型の特徴が現れていると考えられる 11 事例について、所管する各地方整備局に対してヒアリング調査を行った。ヒアリング結果の概要について以下に示す。





### 1.2.2 ヒアリング内容

各事例に対する個別のヒアリング内容は次頁のとおり。



－ 多機能インフラプロジェクトに関するヒアリング調査票 －  
対象事例: ○○○○○○○○○○○○○○

●実施概要

日時: ○月○日

参加者: ○○○

設問1 事業経緯について

① 多機能化のきっかけについて

⇒事業開始年度（H6）より事業間連携を開始したとのことですが、二線提の計画やバイパス整備のそれぞれの計画は元々あったのでしょうか。一体整備となったきっかけをお教えてください。

設問2 多機能化のメリット・デメリットについて

① 多機能化による相乗効果について

⇒「道路舗装が結果として堤防強化につながるとともに、浸水エリアを回避し、路面高を高くすることで、水害時の避難路として災害に強い道路として開放」とありますが、その他、多機能化による効果・メリット等があればお教えてください。

② 多機能インフラの整備によるまちづくりへの波及効果について

⇒整備効果に「大型ショッピングセンター、スポーツレクリエーション施設、圃場整備事業の開発」とありますが、二線提バイパス整備との具体的な関連性等があればお教えてください。また、そのほかにも本事業による、周辺のまちづくりや開発、地域交流等への波及効果等がありましたらお教えてください。

③ 当初想定していなかった使われ方や取組みについて

⇒整備後に想定していなかった本インフラを利用した取組みはありますか。

④ 多機能化のデメリットについて

⇒複数の部署が関わる点や設計検討の複雑化（例：道路整備では適用されない河川の基準が適用される等）等による事業期間への影響はありましたでしょうか。また、多機能化したことによる合意形成への影響等はありましたでしょうか。

設問3 多機能化のコスト・費用対効果について

① 多機能化により削減できたコストについて

⇒多機能化により、個別に各事業を実施する際と比較して、総事業コストは削減されたでしょうか。

単独整備の場合の費用比較などを行っている場合、それぞれの事業費をお教えてください。

⇒道路と河川の費用負担割合（道路 101 億円、河川 200 億円）はどのように決定されましたか。また、費用負担の協議は円滑に進みましたでしょうか。

② 費用対効果について

⇒各分野（道路、河川）の b/c は算出されていますが、bとして、多機能化による相乗効果として計上しているものはありますか。

設問4 多機能インフラの維持管理について

① 維持管理上の工夫について

⇒二線提とバイパスの維持管理はどのように行っていますか。（法的な位置づけや管理区分と管理主体、一体管理の場合は費用負担割合等）

② 維持管理のメリット・デメリットについて

⇒一体的なインフラであるために発生する維持管理上のメリットやデメリット等がありますでしょうか。

設問5 多機能化の推進方策について

① 多機能化を推進するための規制緩和について

⇒本事業を推進する上で、多機能インフラであるがゆえに煩雑化した手続きや法規制等がありますでしょうか。また、緩和により多機能化が進むと考えられる法規制等がありますでしょうか。

設問6 その他

① ICT や DX に関する取組みについて

⇒インフラ分野における ICT や DX の活用が推進されていますが、本事業を推進する上での取組みや今後の方針があればお教えてください。

② 新型コロナウイルスに関連した取組みについて

⇒ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえた国土づくりにおいて、多機能インフラに期待される効果があればお教えてください。

ご協力ありがとうございました。